

至誠 飛躍! 印旛明誠高校

至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり

着任式

4月6日(金)始業式に先立ち、着任式を行い、12名の新しい先生方を迎えました。

校長	長尾 正利 (市立柏高)
国語	岩岡 映 (佐倉高)
地歴公民	石井 正義 (成田国際高)
数学	鈴木 隆文 (我孫子高)
数学	石橋 博通 (佐倉西高)
数学	能登 章人 (我孫子東高)
数学	菊池 真 (新規採用)
理科	近藤 美久 (新規採用)
芸術(音楽)	館山 彩 (鎌ヶ谷第二中)
実習助手	佐々木景子 (新規採用)
講師(数学)	藤野 陽平 (佐倉南高)
講師(英語)	谷内田俊樹 (新任)

生徒代表歓迎の言葉は生徒会長 久保龍介君(印旛中卒)が行い、温かい歓迎の言葉が着任した先生方に贈られました。



始業式

始業式では、長尾校長から講話がありました。新しい年度が始まり、生徒の皆さんがとても清々しく一回り大きくなったように感じる。皆さんは、一人一人取り組むべきこと。成すべきことの整理はついていきますか？

3年生は、高校生活の集大成の年です。自らが思い描く進路実現に向けて歩みを止めるわけにはいきません。ぜひ悔いが残らないように、持てる力を存分に発揮して、良い成果を収めてください。

2年生は、まさに中堅学年として自身自身のステップアップに励む年になります。そして11月には台湾への修学旅行が待っています。ぜひ、台湾では新たな見聞を広め、国際的な感覚を養うなど、素晴らしい経験をしてください。

印旛明誠高校の伝統は、何事にも全力で取り組むところだと思っています。この1年間、多くの結果を残してくれることを期待するとともに、どのような場面で皆さんの弾けた笑顔と出会うことができるのか、とても楽しみにしています。

皆さん、今年1年間頑張りましょう！

入学式

4月9日(月)に多くのご来賓の皆さまや保護者のご臨席のもと、平成30年度入学式を挙行了いたしました。本年度の新入生は、1クラス増の5クラス202名です。

校長の式辞では、『新入生に2つの願いをします。一つ目は本校の校訓<至誠>についてです。「至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり」という言葉があります。意味は誠意を尽くせば、人は必ず心を動かされるということです。本校の校訓<至誠>は、まさに誠実で豊かな心を表しています。本校で3年間学ぶ上で、この<至誠>の持つ意味を大切に育ててください。

二つ目は、「より高い理想に向かって自分を高めていくこと」です。本校の先生方は、皆さんが努力をすることに對し支援や協力を

を惜しみません。しかし、やはり基本は皆さん一人一人の頑張りにあると考えます。未来に向かって自らを磨き、着実に歩を進めていってください。そのために、より高い理想に向かって自分を高めていくことを怠らないでください。皆さんなら必ずできるものと信じています。』という話がありました。



新入生代表宣誓は、古出夏妃さん(印旛中卒)が行いました。

「高校生活では熱中できることをつくり、常に目標を持って生活することが大切だと思います。印旛の地に歴史を刻んできた伝統校の一員としての誇りを持ち、新しい伝統を創っていけるよう日々の生活を送っていきたい。」という、力強い、とても立派な宣誓でありました。



また、音楽部・野球部・陸上競技部・ゴルフ部・バスケットボール部の有志生徒による校歌披露がありました。